

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 2021年 12月 23日

事業所名：ガリレオ オリンピア

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	広い指導訓練室があり、十分なスペースを確保している。	はい14名(全員) 運動スペースだけでなく、静かに過ごせるスペースがほしい。	学習室を工夫し、落ち着ける環境にする。
	2 職員の適切な配置	国の基準を上回る職員配置をしている。 療育補助のボランティアが数名いる。	はい13名 わからない1名	現状維持。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バリアフリーで、エレベーター等も設置されている。 当日のスケジュール等の視覚支援を行っている。	はい14名(全員)	現状維持。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、職員が清掃を行っている。 コロナ感染症の対策として、換気・除菌消毒を行っている。	はい13名 どちらともいえない1名 共同トイレが古い。	毎日テナントの清掃スタッフが清掃を行っている。 職員が汚れを確認した際には、こまめに清掃を行うようにし、常に清潔に心がける。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日の朝礼・終礼を行い、利用者様の様子を共有して反省・改善を行っている。		現状維持。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	保護者様へのアンケートを行い、今後の業務に取り入れ、考察・改善している。 定期的に地域の事業所報告会に参加している。		現状維持。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部の研修・講習に積極的に参加している。 インターネットを活用して、勉強会等もやっている。		現状維持。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	作成・改定のタイミングがずれるが、適宜アセスメントや職員間での情報共有を行っている。		
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	毎日、利用者様の様子を全体共有し、個別活動時と集団活動時の療育内容を考察している。	はい12名 わからない2名	現状維持とともに、契約時・半年後の見直しのための面談・アセスメントを計画的に行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画に明記のうえ、保護者様へ報告を行っている。		
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿って、毎日の朝礼でその日利用される児童について個別の療育内容の確認・配慮等を話し合っている。	はい12名 わからない2名	現状維持。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	毎日の朝礼で、活動内容について話し合い、決定している。		現状維持。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は運動療育を中心に、休日は施設外での体験プログラムを中心に、療育内容を作成している。 コロナウイルス感染症防止の観点から、現在、外出について慎重に計画をたてている。	はい14名(全員)	現状維持。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	曜日ごとのプログラムを作成し、利用者様が飽きないように遊びの中から体幹を鍛えながらも、すべて強制ではなく、利用者様のペースで支援をしている。		現状維持。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	その日の朝礼で、役割分担について話し合い、利用者様の個別の支援方法も確認している。		現状維持。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日終礼を行い、その日の反省点や、成果を振り返り、同時に翌日の療育スケジュール計画も立てている。		現状維持。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援に関しては、毎日の朝礼・終礼で確認している。記録については、業務日報を作成し、気づきや報告事項を都度残している。 週一回会議を行い、支援の改善をしている。		現状維持。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一度は個別支援の見直しと、保護者様への面談・報告を必ず行い、それ以外でも療育や計画について都度会議で意見交換を行い、必要であれば改善をして保護者様へ連絡・報告をしている。		現状維持。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	常に利用者様の様子を把握し、必要ならすぐに学校と各福祉サービス事業所と連携をとり、積極的に参画していける体制をとっている。	現状維持。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有			
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	現状、利用されている児童の最年長は小学6年生である。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関との連携については、いつでも相談にいけるよう所在地や連絡先を確認している。		現状維持。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	各関係機関・施設との交流については、コロナ感染防止の観点から、現状では積極的にはおこなっていない。 近隣公園などで、地域の児童と関り、活動する機会をもっている。	はい2名 いいえ2名	コロナ禍が収まるのを見計らい、その後、利用者のニーズに合わせて対応する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域住民からの招待をうけて参加したことはあるが、招待をしたことはない。また、コロナ感染防止の観点から、積極的に行っていない。	どちらともいえない3名 わからない7名	上記同様、利用者の事情に配慮しながら、今後、地域に開かれた事業所となるためにできる事を検討する。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要事項説明書に記載があり、利用開始前の契約時に詳しく説明している。	はい14名(全員)	現状維持。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者様との面談を実施し、保護者様に対して丁寧な説明をするよう努めている。	はい12名 どちらともいえない1名 わからない1名	現状維持とともに、契約時・半年後の見直しのための面談・アセスメントを計画的に行う。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在、ペアレントトレーニング等は実施していない。保護者様からの申し出により、いつ相談に来られても対応できる体制をとっている。	はい2名 どちらともいえない8名 わからない4名	ニーズがあれば、育児での困りごと等を相談できる体制をとっています。遠慮なくお申し付けください。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時等の面会でやりとりしている。	はい12名 どちらともいえない2名	現状も維持しながら、面談等で保護者様との情報交換を密にするよう努める。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	連絡帳や送迎時、また、面談時に必要に応じて行っている。	はい2名 どちらともいえない10名 わからない2名	LINEやお電話等で気軽にご相談を受け入れる環境を整えていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	未実施。	いいえ4名 どちらともいえない7名 わからない3名	コロナ禍での状況を考慮しつつ、イベント等での保護者同士の交流ができる場を提案していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	現在苦情は届いていないが、苦情が届いた場合は、迅速に対応できるよう体制を整えている。対策等は職員間で検討している。	はい8名 わからない6名	現状維持。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	ご相談があれば、いつでも対応できるようにしている。	はい13名 どちらともいえない1名	現状維持。 LINE等、気軽にご相談できる環境をつくる。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、事業所のおたよりを作成している。ブログで活動様子を配信している。	はい12名 どちらともいえない2名	現状維持。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	施錠できるロッカーで個人情報の管理を行い、PCの個人情報についてはパスワードを設定し、管理を徹底している。その他、廃棄書類等のシュレッダーを活用し、情報管理を徹底している。	はい12名 わからない2名	現状維持。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	職員内での対応マニュアルがある。いつでも閲覧可能である。	はい8名 どちらともいえない1名 わからない5名	警察と連携し、防犯訓練等を行う。マニュアルをもとに、職員と保護者様への周知の徹底を行う。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	1年に2回以上の避難訓練などを実施している。	はい4名 いいえ2名 どちらともいえない1名 わからない7名	現状維持。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待を防止するための研修を実施している。また、日頃から目の届く場所に研修資料を置き、目を通してしている。		現状維持。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	事例はないが、重要事項説明書に記載し、契約時に説明を行っている。		現状維持。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	事例はないが、契約時にアレルギー調査票を各家庭に配布している。職員全てに周知するよう心掛けている。		現状維持。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例が起こった時に、ヒヤリハットを作成し、原因と予防策を職員間で話し合い、周知に努めている。		現状維持。